



2013

Interim Report

平成25年4月1日 — 平成25年9月30日

第61期 中間報告書

GEO▲▲ATEC

1953-2013

# 60<sup>th</sup> Anniversary

おかげさまで、ジオマテックは  
創業60周年を迎えました。





## To Our Shareholders

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

また、当社は本年9月に創業60周年を迎えることができました。これもひとえに皆様のご支援の賜物と心より感謝いたしております。今後とも、これまで同様のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

さて、ここに当社グループの第61期中間報告書をお届けするにあたりまして、一言ごあいさつを申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀による金融緩和政策による景況感の好転により、景気は回復基調で推移いたしました。また、海外におきましては、中国やインドなど新興国の成長スピードは鈍化するものの、欧州での債務問題の沈静化や米国での底堅い個人消費に支えられ、緩やかながら回復基調で推移いたしました。

このような環境の中、当社グループの主力市場である中小型フラットパネルディスプレイ（FPD）市場は、スマートフォン、タブレット機器の需要増により引き続き堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は51億60百万円（前年同期比7.6%増）となりました。損益につきましては、スマートフォン、タブレット向けの売上が増加したことや、中国子会社の収益が改善したことなどから、営業利益は6億8百万円（前年同期比125.4%増）、経常利益は6億20百万円（前年同期比119.2%増）、四半期純利益は5億93百万円（前年同期比181.7%増）となりました。

また、品目別の状況は次の通りであります。

### ■ FPD用基板

FPD用基板につきましては、スマートフォン、タブレット端末及びカーナビゲーション向けで、液晶パネル用帯電防止膜やタッチパネル用透明導電膜の需要が安定している



代表取締役社長 松崎建太郎

代表取締役会長 松崎隆造

ことから堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は38億12百万円（前年同期比6.5%増）となりました。

### ■ 光学機器用部品

光学機器用部品につきましては、プロジェクター向け光学部品で大手プロジェクターメーカーが事業を縮小したことや、デジタルカメラの販売不振により反射防止膜の需要が減少したことなどから低調な推移となりました。

この結果、売上高は4億60百万円（前年同期比27.3%減）となりました。

### ■ その他

その他につきましては、スマートフォン向け加飾膜やマスクブランクス向け薄膜などとともに、その他薄膜製品の販売活動に取り組みました。

この結果、売上高は8億87百万円（前年同期比52.1%増）となりました。



# History 60年

ジオマテックの

ジオマテックは1953年(昭和28年)に創業者 故松崎 勇が「松崎光学精密硝子株式会社」を設立。その後、一貫して真空成膜技術のプロフェッショナル企業として歩んでまいりました。

## 1953年9月

真空成膜による光学部品の製造および販売を目的に、東京都品川区に資本金30万円で松崎光学精密硝子株式会社を設立

## 1954年2月

東京都品川区に鮫洲工場を設置、真空成膜製品の生産を開始

## 1958年8月

商号を松崎光学株式会社に変更



1950

## 1960年6月

商号を松崎真空被膜株式会社に変更

## 1965年1月

新製品の開発と技術向上を目的に、東京都大田区矢口に矢口研究所を建設

1960

## 1972年3月

ITOによる透明導電膜の生産を開始

## 1975年3月

液晶ディスプレイ用ITO膜の品質向上・生産性拡大を目的に、宮城県栗原郡(現:栗原市)金成町に「ふるさと工場」として金成工場(現、金成第一工場)を建設



1970

## 1959年2月

東京都大田区に多摩川工場(現、R&Dセンター)を建設し、各種金属表面鏡の生産を開始



**1990年9月**

大阪府に大阪営業所を設置

**1990年9月**

東京都大田区に研究開発室(現、R&Dセンター)を設置し、開発体制を強化

**1992年4月**

商号をジオマテック株式会社に変更

**1992年8月**

液晶ディスプレイ用ITO膜の生産性拡大、西日本の拠点設立を目的に、兵庫県赤穂市に赤穂工場を設立



**1993年9月**

金成第二工場にインライン・スパッタリング装置を設置し、高品質に対応した液晶ディスプレイ用ITO膜の生産を開始

**1994年11月**

当社株式を日本証券業協会(現:東京証券取引所ジャスダック市場)に株式上場

**1996年3月**

本社を横浜市西区に移転



2013年9月  
創業60周年

1980

1990

2000

**1981年10月**

「真空蒸着法による高性能透明導電膜の開発と育成」によって第一回 科学技術庁(現、文部科学省)長官賞を受賞

**1986年5月**

OA機器の品質向上・生産性拡大を目的とし、宮城県栗原郡(現:栗原市)築館町に築館城生野工場を建設

**1987年9月**

液晶ディスプレイ用ITO膜の生産性拡大を目的とし、宮城県栗原郡(現:栗原市)金成町に金成第二工場を建設



**1988年9月**

商号を松崎真空株式会社に変更

**2001年6月**

光通信用光学部品の技術的向上と量的拡大を目的とし、株式会社光学技研と業務提携し神奈川県厚木市に工場を設立

**2007年12月**

FPD用薄膜製品の量的拡大を目的とし、吉奥馬科技(無錫)有限公司第二工場を建設

**2008年3月**

ディスプレイ用フィルム製品の量的拡大を目的とし、金成第一工場にロール式成膜装置を設置

**2002年7月**

液晶プロジェクター用光学部品の量的拡大を目的とし、中国無錫に吉奥馬科技(無錫)有限公司を設立





## 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	第60期 第2四半期	第61期 第2四半期
	H24.9.30現在	H25.9.30現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	16,138	17,234
固定資産	8,128	8,832
有形固定資産	6,635	7,143
無形固定資産	38	73
投資その他の資産	1,454	1,615
<b>資産合計</b>	<b>24,267</b>	<b>26,067</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	5,471	6,409
固定負債	2,162	1,979
<b>負債合計</b>	<b>7,634</b>	<b>8,389</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	16,877	17,354
資本金	4,043	4,043
資本剰余金	8,297	8,297
利益剰余金	5,347	6,324
自己株式	△ 811	△ 1,311
その他の包括利益累計額	△ 245	323
その他有価証券評価差額金	7	127
為替換算調整勘定	△ 252	195
<b>純資産合計</b>	<b>16,632</b>	<b>17,678</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>24,267</b>	<b>26,067</b>

## 連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	第60期 第2四半期(累計)	第61期 第2四半期(累計)
	H24.4.1~H24.9.30	H25.4.1~H25.9.30
売上高	4,795	5,160
売上原価	3,667	3,613
販売費及び一般管理費	858	938
<b>営業利益</b>	<b>269</b>	<b>608</b>
営業外収益	46	44
営業外費用	33	32
<b>経常利益</b>	<b>282</b>	<b>620</b>
特別利益	0	0
特別損失	66	—
<b>税金等調整前四半期純利益</b>	<b>216</b>	<b>620</b>
法人税、住民税及び事業税	5	26
法人税等調整額	0	0
<b>四半期純利益</b>	<b>210</b>	<b>593</b>

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	第60期 第2四半期(累計)	第61期 第2四半期(累計)
	H24.4.1~H24.9.30	H25.4.1~H25.9.30
営業活動によるキャッシュ・フロー	496	1,113
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 233	△ 397
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 629	△ 1,105
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 5	43
現金及び現金同等物の増減額	△ 372	△ 345
現金及び現金同等物の期首残高	8,523	8,735
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,150	8,389



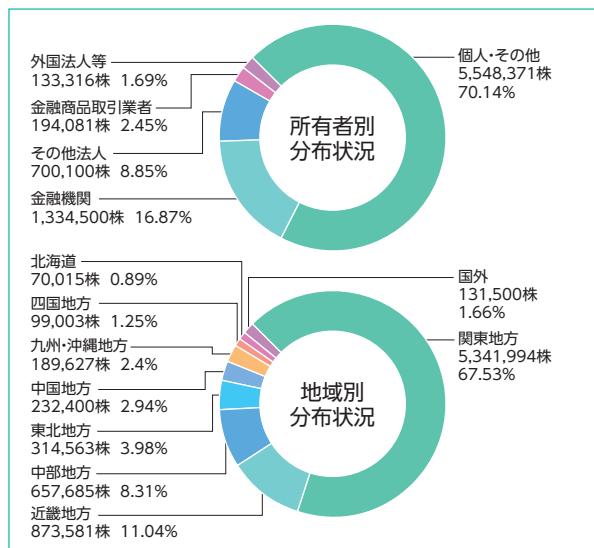
# Stock Information

株式の状況 (H25.9.30現在)

発行可能株式総数 ..... 21,600,000 株  
 発行済株式総数 ..... 9,152,400 株  
 株主総数 ..... 5,295 名  
 (前期末比500名減)

## 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	持株比率(%)
松崎隆造	1,053,100	13.31
松崎建太郎	424,100	5.36
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 東京都民銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	418,800	5.29
有限会社松崎興産	336,000	4.24
株式会社三菱東京UFJ銀行	303,800	3.84
ジオマテック従業員持株会	189,380	2.39
明治安田生命保険相互会社	154,000	1.94
梅田照男	130,000	1.64
第一生命保険株式会社	105,000	1.32
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	94,300	1.19



※自己名義株式は除いております。



# Corporate Data

会社概要 (H25.9.30現在)

商 号 ジオマテック株式会社  
 GEOMATEC CO., LTD.

設 立 昭和28年9月

資 本 金 40億4,385万円

従 業 員 数 717名(連結) 471名(単体)

本 社 所 在 地 〒220-8109 横浜市西区みなとみらい二丁目2番1号  
 TEL. 045-222-5720 FAX. 045-222-5735  
 E-mail:geomatec@geomatec.co.jp

事 業 内 容 フラットパネルディスプレイ用基板(液晶ディスプレイ用  
 基板、EL用基板、タッチパネル用基板)、光学機器用部品、  
 固体レーザー用光学系部品、その他真空成膜製品の製  
 造及び販売他

主 な 販 売 先 AGCテクノグラス(株)、SMK(株)、エレマテック(株)、  
 シャープ(株)、(株)ジャパンディスプレイ、大日本印刷(株)、  
 パナソニック液晶ディスプレイ(株) など

(五十音順)

## 取締役、監査役及び執行役員 (H25.9.30現在)

代表取締役会長	松 崎 隆 造
代表取締役社長	松 崎 建 太 郎
取締役常務執行役員	鈴 木 忠 春
取締役執行役員	高 橋 幸 吉
常 勤 監 査 役	熱 海 敏 幸
監 査 役	寺 西 尚 人
監 査 役	堀 江 正 機
執 行 役 員	菅 原 浩 幸
執 行 役 員	河 野 淳 喜
執 行 役 員	菅 原 英 喜
執 行 役 員	武 田 明 明
執 行 役 員	松 本 作 太

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
剰余金の配当基準日	3月31日(中間配当を行う場合は9月30日)
単元株式数	100株
公告方法	電子公告 ( <a href="http://www.geomatec.co.jp/">http://www.geomatec.co.jp/</a> ) ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金 受取り方法の変更等)		みずほ証券 本店、全国各支店及び営業所 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)でもお取 扱いたします。 みずほ信託銀行 本店及び全国各支店 *トラストラフンジではお取扱いできませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行及びみずほ銀行の本店及び全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)	
ご注 意	支払明細発行については、 右の「特別口座の場合」の 郵便物送付先・電話お問 合わせ先・各種手続お取 扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式 売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式 の振替手続を行っていただく必要があります。

## ジオマテック株式会社

GEOMATEC CO., LTD.

本社 〒220-8109 横浜西区みなとみらい二丁目2番1号  
TEL.045-222-5720 FAX.045-222-5735



**PROJECT-  
With the Earth**  
この冊子の印刷・製本に係るCO<sub>2</sub>は  
PROJECT- With the Earth を  
通じてオフセット(相殺)しています。



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォントを  
採用しています。